

# 核保有国は廃絶措置を

## 国連総会第1委 討論始まる

【ワシントン＝島田峰隆】

ニューヨークの国連本部で開かれている第78回国連総会は、議論の場を分野別の各委員会に移し、軍縮・国際安全保障問題を扱う第一委員会では2日、一般討論が始まりました。地域機構の代表らは、核兵器禁止条約の発展を歓迎するなどして、核保有国に対し核不拡散条約（NPT）の義務に墜つて核廃絶の措置を取るよう要求しました。

中曽田は、核軍縮に関する既存の約束を実践する」として、「信頼醸成や高思疎通の具体的措置を通じて核使用を未然に防ぐ」などを提案しました。

東南アジア諸国連合（ASEAN）を代表して発言したフィリピンは、核軍縮に向けた交渉義務を定めたNPT第6条について「核保有国が軍事戦略での核兵器の役割の重視、核兵器の近代化などを触れ、「冷戦の最も激しかった時以降で今は、核兵器が使われる危険が高まり、それを防ぐ体制が脆弱（せじきやく）になっている時はない」と懸念を表明しました。

中曽田は、核軍縮に関する既存の約束を実践する」として、「信頼醸成や高思疎通の具体的措置を通じて核使用を未然に防ぐ」などを提案しました。

中米統合機構（SICA）を代表したエルサルバドルは、中米8カ国すべてが核兵器禁止条約の締約国になつていることを指摘。「核兵器禁止条約は核軍縮と不拡散、廃絶への道を強化する」と訴えました。

非同盟諸国を代表して発言したイングランドは、「核保有国による廃絶措置が一向に進んでいない」と批判。「保有国の掲げるステップ・バイ・ステップのやり方は失敗している」と強調し、具体的な基準や期限を定めた形で廃絶に取り組むよう求めました。

核兵器禁止条約の第2回締約国会議の準備に「建設的に取り組む」と述べました。

中曽田は、核軍縮に向けた交渉義務を定めたNPT第6条について「核保有国が軍事戦略での核兵器の役割の重視、核兵器の近代化などを触れ、「冷戦の最も激しかった時以降で今は、核兵器が使われる危険が高まり、それを防ぐ体制が脆弱（せじきやく）になっている時はない」と懸念を表明しました。

## 使用防止など提案も

非同盟諸国を代表して発言したイングランドは、「核保有国による廃絶措置が一向に進んでいない」と批判。「保有国の掲げるステップ・バイ・ステップのやり方は失敗している」と強調し、具体的な基準や期限を定めた形で廃絶に取り組むよう求めました。

核兵器禁止条約の第2回締約国会議の準備に「建設的に取り組む」と述べました。